

親子聖書日課

NO.1653 2020.5/31-6/6 名前

[日]人生には良い時も悪い時もあります。「順境には楽しみ、逆境にはこう考えよ」とは、良い時には幸いを主に感謝し、悪い時には自分の生き方が御心に適っていたか、悔い改めることです。全ては主の御手にあります。御声を聴きましょう。

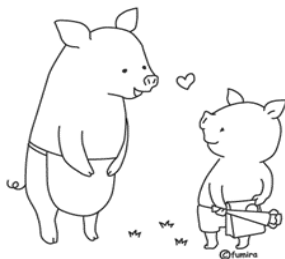
[月]未来を知ることができれば、災いを回避できると思うでしょうが、未来が隠されていることは、恵みです。自分の命が明日までと知らされたら、生きることは辛いです。「何事にもふさわしい時がある」とは、主が一步一步を備えて下さるからです。

[火]力ある者が人生の勝利者になるとは限りません。ウサギに勝ったカメのように遅くても、わき目をふらず、主だけ見上げて歩むなら、人生の勝利者になれます。主の力は弱い人にこそ働いて、救いを与えて下さいます。世に勝つ力は信仰！

[水]「遇者は口数が多い」とは、他人事ではありません。神に対して空しい言葉を繰り返す人は、神の言葉を聴きません。人に対して弁解や自慢を繰り返す人は、対話を閉ざします。口数を少なくして、聴きましょう。豊かな交わりが生まれます。

[木]私達は沢山のチラシを配りますが、教会に来る人は少ないですね。それは「パンを水に浮かべて流す」ようで、全くむだに見えるかもしれません。しかし、いつの日か救霊の実を結ぶ時がきます。この御言葉を信じて伝道の業に励みましょう。

[金]「神を畏れ、その戒めを守れ」これこそ、人間の本分であり、神に造られた目的です。若い時に主を信じることができたら、これほど幸いなことはありません。「青春の日々にこそ」心が柔らかく、活力をもって奉仕できます。子供を主に導きましょう。



[土]男女の愛を歌ったラブソングが雅歌です。この歌が聖書に入ったのは、神と民、すなわちキリストと教会の愛の交わりを象徴しているからです。私達はどれ程、罪深い者であっても、主に愛されています。キリストの花嫁として、その愛に応えましょう。

	聖書	問題	答え
日	コヘレト 7:1-29	順境には楽しみ、逆境にはどうすべきですか。	
月	8:1-17	何事にも、どんな時がありますか。	
火	9:1-18	足の速い者が競争に、強い者が戦いにどうするとは言えないですか。	
水	10:1-20	遇者は口数がどうですか。	
木	11:1-10	何を水に浮かべて流すのがよいですか。	
金	12:1-14	何をすることこそ、人間のすべてですか。	
土	雅歌 1:1-17	ぶどう酒にもまして、あなたの何は快いですか。	
感想と祈りの課題			